



# 4 都市計画道路 北口所岡線

きたぐちところおか

## DATA・BOARD④

- ①山形県西村山郡河北町各地北口地内
- ②延長：約170m、幅員：12m(歩道片側各2.5m)
- ③ポケットパーク、街路灯
- ④赤御影擬石ほか
- ⑤谷地ひなまつり



河北町は最上川の水運を使った京・大坂との交易により、雛人形をはじめ多くの文化や伝統芸能がもたらされた町である。こうした背景をもつ、ひな市通り地区にある「北口所岡線」を、歴史性に富んだ道づくりを目標に整備を行った。

歩道と車道との境界ブロックと歩道の平板ブロックには、地域の特産品であるベニバナに合わせた配色を考えて赤御影擬石を使用した。また、電柱などの路上物件は民有地側の協力により路上から撤去するとともに、街路灯は周辺景観と調和のとれた素材で柔らかない赤色灯の照明にしたがり、ポケットパークの設置も行った。

なお、沿道にある安楽寺の塀は周囲との景観の調和を図るために、同寺の協力により真壁仕上げで施工された。

●ふるさとの風景にときこむ道